

会議録

会議の名称	平成26年度 第3回 西東京市地域公共交通会議
開催日時	平成26年8月19日（金曜日） 午後2時から3時45分 まで
開催場所	防災センター 講座室1
出席者	委員：稲垣委員、児玉委員、関根（康）委員、畠山委員、町田委員、高橋委員、菱刈委員、松本委員 事務局：伊藤参与、小貫主査、乙幡主事、岩見主事 傍聴者：なし
議題	議題1 運賃改定後の状況について 議題2 はなバスの乗降調査及びアンケート調査結果について 議題3 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市地域公共交通会議委員名簿 資料2 運賃改定に伴う乗車人数・運賃収入比較 資料3-1 はなバスに関する利用者アンケート 資料3-2 はなバスに関する市民アンケート 資料3-3 はなバス乗降調査及びアンケート調査結果 資料3-4 利用者アンケート自由意見【平日】 資料3-5 利用者アンケート自由意見【休日】 資料3-6 市民アンケート自由意見 資料3-7 はなバス乗降調査及びアンケート調査結果概要版 資料4 第4回地域公共交通会議 開催予定日について
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>委嘱状交付</p> <p>新委員挨拶</p> <p>（公務のため参与退室）</p> <p>事務局： 議題及び配布資料の確認</p> <p>会長： 開会宣言 西東京市地域交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数(委員の過半数)を満たしていることを報告</p> <p>「会議の公開について」</p>	

会長：

議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっているが公開でよろしいか。

(全員賛成)

会長：

それでは、本日の会議については原則どおり公開とする。

### 議題1 運賃改定後の状況について

会長：

議題1「運賃改定後の状況について」事務局から説明を求める。

事務局：

運賃改定に伴う乗車人数・運賃収入比較について説明。

平成25年8月1日にはなバス一般運賃を100円から150円に改定。その後の平成25～平成26年7月までの一年間の月別乗車人数、運賃改定前後の乗車人数比較、運賃収入説明。

会長：

運賃改定後の状況については運賃改定前に想定していたものと、ほぼ同様の結果が得られた。質問・意見はあるか。

委員：

運賃改定したことによって収支はどのようになったのか。

事務局：

収入は約2,000万円程度増えている。一人あたりの公費負担額は約67円となっている。

### 議題2 はなバスの乗降調査及びアンケート調査について

会長：

次に、議題2「はなバスの乗降調査及びアンケート調査について」事務局より説明を求める。

事務局：

資料3-1、資料3-2について説明。利用者アンケート調査、市民アンケート調査の主な修正・変更点を説明。

会長：

前回の会議でいただいた意見を基に修正・検討し、実際に行ったアンケートが資料3

ー1、3ー2となる。

事務局：

調査結果については今回はなバス乗降調査及びアンケート調査を委託した、株式会社ライテックより説明する。

株式会社ライテックより資料3ー7の説明

会長：

今回は全ルートで行った乗降調査、所要時間調査、利用者アンケートと市民アンケートを含め合計4つの調査結果の概要を説明してもらった。今回は単純に結果だけをまとめているが次回はこれを踏まえて浮かび上がった課題、アンケートについても単純集計だけでなくクロス集計等も行い課題を浮かび上がらせて方向性を出す予定である。現時点で何か質問・意見はあるか。

委員：

次回、クロス集計で利用者アンケート問4のバスロケーションシステムについて年齢別・性別別でバスロケの必要有無について知りたい。

委員：

重要なのはバスが行ってしまったかどうかである。遅れていれば待てばよいが、7分遅れなどの遅延ではお客さんが定時にバス停にいてもバスが行ったと思い徒歩で移動をしてしまうことがある。

委員：

第1ルートは生活路線に組み込まれているため利用者は待つことが多いが、ほかのルートに関しては歩いて行ってしまうこともある。

会長：

第4ルートではすでにバスロケが導入されていて携帯で確認できるようになっている。

委員：

アンケートにあった乗務員の態度に関しては、乗務員の教育に活用していきたい。

委員：

アンケートの集計結果を市民は閲覧できるのか。

事務局：

地域公共交通会議に提出した資料についてはすべて情報公開コーナーにて公開される。

委員：

はなバス全体としてまとめるのではなく、ルート別で議論できるように特殊性が見え

るようなまとめ方をしていくのはどうか。

6月10日の夕方に火災があったとあるが、そういった影響による値は外れ値になってしまう。例えば、第3・4ルート of バス停別の遅延時間についてはどれが火災の影響なのかを割り出すべきである。

複数回答が可能な設問は項目ごとにグラフを作成すべきである。

と回答した人は△△と回答した人が多いといった質問項目を跨いだクロス集計ができるとうい。

委員：

居住地別、特に市内外別のOD把握できるといい。路線バスについてどこで乗り換えているかはわかるのか。

事務局：

利用者アンケートで路線バスへの(からの)乗換えについて問う設問はあるが、どこで路線バスに乗り換えるというのはわからない。

委員：

資料の3-4、3-5の感想・その他には謝辞が多く書かれている。ホームページなどに公開するときに、肯定されている意見を数で示すのはどうか。

委員：

ICカードが導入されたにも関わらず、自由意見を見るとまだ認知されていないように感じる。

委員：

路線図で便数によって太さが変わる地図があれば、どこのバス停で乗り換えているのかの予測ができる。例えば保谷駅～保谷庁舎間では西武バスとはなバスでルートが被っている。路線バスが通っているが、もしかすると安いからはなバスを利用している人もいるかもしれない。

会長：

ルートの見直しや改廃に話が及ぶと路線バスとの重複などの問題も出てくるため、説明に十分な資料を事務局は用意してほしい。

事務局：

はなバスは消費税増税に伴っての運賃改定を行っていないため、今後対応をしていかなければならない。ルート自体も今回の結果で乗客が少なくてもはなバスはコミュニティバスとして公共交通空白地域を補完する目的があるので、乗客が多い少ない、収入が多い少ないだけで判断できない部分もあると思う。

会長：

議題2について、ほかに質問・意見はあるか。

委員：

乗車1人あたりの公費負担額が約67円とあったが、負担額を計算して、ルート別の乗車1人あたりの公費負担額が出せるとよいのではないか。

事務局：

過去に第5ルートの公費負担額を算出した際、第2ルートと第3ルートで車両を共用しているにも関わらず、その点を加味せず計算していた経緯がある。そこで運送キロで割りかえしてルート単位で出せないかと調整を始めたところである。

委員：

交通弱者への対応として高齢者に着目して分析するのはどうか。地域別の高齢者人口の分布や、高齢者1人あたりの利用回数など高齢者に着目した分析を行うのはどうか。

会長：

ほかに質問・意見はあるか。

委員：

アンケートの話とはずれてしまうが、タクシー事業もバス事業も活性化を重要視している。乗車人員さえ増えれば値上げせずに済むという考え方もある。例えば、はなバスに乗って行ける公共施設などをまとめた地図を作成することで、通勤、通学以外に利用する人が増えるのではないか。

会長：

全体を通して、何か意見は無いか。議題3「その他」について事務局から説明を求める。

### **議題3 その他**

事務局：

次回の日程等について説明。

会長：

他にあるか。無いようであれば、これをもって本日の議事を終了する。以上で、本日の日程はすべて終了する。本日の会議の会議録については、事務局にて作成を指示する。これをもって、第3回 西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上